

日 時	平成19年7月28日(土) 午後2時00分～午後3時35分			
場 所	塩江公民館大ホール			
出席者 (市)	市長	総務部長	企画財政部長	市民部長
	健康福祉部次長	病院部長	環境部長	産業部次長
	都市整備部次長	消防局次長	水道局次長	教育部長
	文化部次長			
	事務局 7人			
市 民	56名			
概 要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 資料等説明</li> <li>4 意見交換</li> </ol>			
意見交換 市民	<p>基本構想素案では5つのエリアを設け地域別で特色あるまちづくりを進めるとあるが、まちづくり戦略計画策定に当たっては、塩江町を南部地域としての大きなエリアではなく、過疎地域の特異性に配慮した計画として、過疎対策に重点を置いた地域振興策を新総合計画に優先的に盛り込んでほしい。</p> <p>次に、新総合計画ではまちづくりの中心理念として、コンパクトで持続可能なまちづくりを掲げているが、これは中心市街地の活性化による都市の再生と都市機能の集中による行政の効率化を目指したものであり、コンパクトシティ構想は、地域独自の特色をいかした地域別まちづくり構想と、どう整合性をとるのか教えていただきたい。都心部と離れたこの地域は、行政サービスの低下につながるのではないかと危惧している。都心部と他地域の連携強化を図ることが市域全体の発展につながると思うがお考えをお聞かせいただきたい。</p>			
市長	<p>具体的な事業は、まちづくり戦略計画の中で位置づけていくことになるため、その中で塩江地域に合ったもの、また、住民の要望の強いものを具体的に位置づけていきたい。高齢化率も高い地域の特色もあり、病院の関係、バスの問題なども認識しているので御要望を聞きながら事業として位置づけていきたい。</p> <p>2点目のコンパクトシティと地域の関係であるが、人口減少社会に入り、財政状況も厳しくなっている中で、今までと同じように分散、拡大型の事業展開は予算がいくらでもかかるし、人口が減少している中で拡大して投資をするのは無駄遣いともなるので、方向転換して、できるだけ集中して核となる地域へ投資して、人口を集めていこうとするのがコンパクトなまちづくりの基本的な考え方である。</p> <p>現在、策定している中心市街地活性化基本計画は1つの大きな核であり、周辺の特色ある地域の小さな核にもコンパクトなまちづくりとして公共投資をしていく。</p> <p>大きな核と小さな核を情報網や交通網でネットワーク整備して連携を図って、市域全体を活性化してコンパクトなまちづくりを進めていきたい。</p>			

市民	<p>この度の市の職員の不祥事，レベルの低さ，仕事のできない職員をどう思うか。防災対策についてであるが，過去に冠水した中学校をいまだに避難所としている，公共施設だから安心ということはないと思うがどうか。</p>
市長	<p>この度の不祥事は，市民の方々の信用を著しく失墜する行為でありお詫びする。今後このようなことがないようにしていきたい。</p> <p>避難場所は災害の種類等によつての対策も必要と思うが，災害を想定した防災対策を見直していきたい。今年度にハザードマップを地区ごとに作ることにしているので，ハザードマップを基にどの場所の避難場所が適当か見直していきたい。</p>
市民	<p>中山間部で林業が衰退して森林荒廃が進んでいる。過疎化が進行する中，森林組合の組合員として，水源としての森林を管理していくのを難しく思っている。県などでは森林環境税などを考えているが，市としてどう考えているのか。</p>
市長	<p>森林の荒廃は，全国的にも問題であり，担い手不足もあり荒廃して災害が起こりやすくなっている。森林環境税については県の方で検討しているので状況等を見守りたい。</p>
関係部次長	<p>森林組合の事業については，森林施業計画をたてて進めているので森林組合と協議しながら進めていきたい。</p> <p>また，本市総合計画を作成しているのでその中で森林事業について検討していきたい。</p>
市民	<p>町道の管理（草刈）についてですが，現在，草刈補助として160万円位を補助してもらっている，この補助は，合併協議で3カ年となっているが，業者に委託するとかかりかかることになるため，継続して補助してほしい。</p> <p>次に，中山間地域直接支払い制度についてであるが，旧塩江町と高松市での取り扱いが少し異なっているように思う。高松市では，写真で判定を行つてトラブルにもなったことがあり，現在，花木を植栽しているのを認めてもらえなかった。これは，国で定めているものか，そうであれば，県，市において緩和するようにしてもらえないか。後日でよいので答えてほしい。</p> <p>旧塩江町のときに消火器を補助で購入して，近所の火災に使用した場合は，無償で詰め替えをしてもらっていた，市でも行ってほしい。</p>
関係部次長	<p>道路の草刈補助であるが，合併協議の中で3年間の経過措置により補助することとしている。補助の継続については，合併協議で取決めているので困難と思われる。市では，マイロード事業により清掃活動の清掃用具の支給を行っているので活用してほしい。</p>
関係部次長	<p>中山間地域直接支払い制度については，持ち帰って回答させてもらいたい。</p>

関係局次長	消火器の充填については、可能かどうか検討して後日連絡させてもらいたい。
市民	塩江地域は、高齢化が進んでいるので統合した安原保育所を地域の高齢者のために有効活用してはどうかと提案したが、補助金の関係から目的外使用ということで実現していない。もっと柔軟に使用することができないか。知恵を貸してほしい。
市長	統合して中心市街地でも空き校舎の活用が大きな問題となっている。地域の実情に応じて有効に活用させてもらうように国の方に有効活用の理由を話していきたい。地域に合った公共施設の利用が図れるようにやっていきたい。
関係部次長	安原保育所については、補助金が約2,000万円程残っている。補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律により本来なら補助金の返還となるが、今後、国のほうに話して利用できるかどうか確認をさせていただきたい。
市民	塩江町の上西地区は50年前と比べて人口が8割減となっている。今のコンパクトなまちづくりには物足りなさを感じている。また、今の縦割り行政を見直すことも重要ではないか。次に共助という部分でのコミュニティに対して支援・指導してもらいたい。また、2年前からNPO法人を立ち上げて地域活動をしているので指導、支援もしてもらいたい。今後はコミュニティを勉強していきたいので地域の実情を理解した上で適切な支援・指導をお願いしたい。
市長	<p>過疎地域における施策については、まちづくり戦略計画の中で位置づけていきたい。コンパクトなまちづくりと過疎対策事業は違う次元での発想である。ネットワークで活性化を図るまちづくりと補完的に過疎対策を進める必要がある。</p> <p>共助としてコミュニティを軸としたまちづくりを掲げている、共助を強くする組織づくりとしてコミュニティ協議会設立をお願いしている。市内と塩江では協議会のあり方も違うと思うので地域の実情にあった協議会づくりが必要であると考えている。</p> <p>市役所も8月1日から機構改革を行い、市民政策部を創設して市民の窓口とするので、何かあれば市民政策部に言ってもらいたい。市としてもできる限りの応援をしていきたい。</p>
市民	食生活改善に携わっているが、若い世代の食の乱れがあり、今後とも食育に対して協力をお願いしたい。
市長	<p>合併町において活発に活動していると聞いているが、若い世代を始め、食育の大切さが危惧されていることが見受けられるので、市としても食育をさらに推進していくため新しい展開も含めて食育の充実に努めていくと、6月の議会でも答弁をしている。</p> <p>今後、食育を推進できるよう事業を展開していきたい。</p>
市民	マイクロバスの使用条件が厳しくて以前のように使用できない。路線バスの便数

<p>市長</p>	<p>も少ないので事業を行っても人に来てもらうことができないので、マイクロバスをもう少し使用しやすくしてほしい。</p> <p>塩江町地区の特徴にあったような行政展開が必要と思う。中心部と違ったやり方でこの地域に合っていて、良いものなら残していく考え方でやっていきたい。マイクロバスについては、白タクとの兼ね合いもあり自由に認められないのではないかなと思うが、どこまで認められるのか関係部局に検討させたい。</p> <p>足の確保については、バス路線、ダイヤ等の関係について要望も聞いているので関係部で地元と調整している。</p>
<p>市民</p>	<p>保育所の行事の関係で、合併までは自然の行事に園外保育としてバスを使用していたが、できなくなった。バスを今までどおり使わせてほしい。2点目は、プールの使用について、湧水対策は大切と思うが、保育所の園児は水とのふれあいが大切であり、水につかりたい時にプールを使用できるようにしてほしい。3点目は、保育祭りが市域全体で屋島で行っているのが保護者等の負担となっているので見直しをしてほしい。</p>
<p>市長</p>	<p>バスの問題については、調べてみたい。プールの問題については、当時検討もしたが、水不足の中でシャワーを使ったりするので控えてもらうことにした。また、どこかの地域だけを特別扱いにすることはできない。今後は水不足が起こることがないように抜本的に、地下水利用などを考えていくなど真剣に考えていきたい。</p> <p>保育祭りについて、遠いところから来ていることが負担になっているのなら、それぞれの団体でやり方を工夫して、地域で集まるなり、代表が全体会を行うなど工夫をしてもらいたい。</p>